

災 害 の 概 況

(平成21年)



(鳥取県西部消防局高度救助隊発足式)

鳥 取 県 西 部 広 域 行 政 管 理 組 合
消 防 局

目 次

(ページ数)

災害概況のまとめ	1
I 火災概況	3
1 火災状況	3
2 出火原因	3
3 死者、負傷者	4
別図 I - 1 火災件数の推移	4
別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率	4
別図 I - 3 月別の火災件数	5
別図 I - 4 市町村別火災件数の構成比率	5
別図 I - 5 経過別死者発生状況	6
別図 I - 6 経過別負傷者発生状況	6
別表 I - 1 平成 21 年の火災の概況	7
別表 I - 2 月別火災発生状況	8
別表 I - 3 市町村別火災状況	9
別表 I - 4 出火原因別火災発生概況	10
別表 I - 5 過去 5 年間の市町村別火災件数	11
別表 I - 6 過去 10 年間の火災発生状況	12
II 救急概況	13
1 救急出動件数、救急搬送状況	13
2 市町村別救急活動状況	13
3 傷病程度別搬送状況	13
4 年齢別搬送状況	13
5 署所別救急活動状況	13
6 月別救急活動状況	13
7 現場到着所要時間、収容所要時間	13
8 応急手当実施状況	13
9 高度救命処置状況	13
10 救急講習件数の推移	13
別図 II - 1 事故種別救急出動状況	14
別図 II - 2 事故種別救急搬送状況	14
別図 II - 3 過去 5 年間の救急推移	15
別図 II - 4 市町村別救急活動状況	15
別図 II - 5 傷病程度別搬送状況	16
別図 II - 6 年齢別搬送状況	16
別図 II - 7 署所別救急活動状況	17
別図 II - 8 月別救急活動状況	17

別図Ⅱ－ 9	現場到着所要時間	18
別図Ⅱ－10	収容所要時間	18
別図Ⅱ－11	応急手当実施状況	19
別図Ⅱ－12	高度救命処置状況	19
別図Ⅱ－13	高度救命処置状況	19
別図Ⅱ－14	過去5年間の救急講習件数推移	20
別図Ⅱ－15	過去5年間の救急講習人員推移	20
別表Ⅱ－ 1	応急手当指導員・普及員の養成	20
別表Ⅱ－ 2	過去5年間の市町村別救急件数	21

Ⅲ	救助概況	22
1	事故種別救助出動状況	22
2	事故種別救助活動状況	22
3	事故種別救助人員状況	22
4	管轄別救助活動状況	22
5	市町村別救助活動状況	22
6	月別救助活動状況	22
別図Ⅲ－ 1	事故種別救助出動状況	23
別図Ⅲ－ 2	事故種別救助活動状況	23
別図Ⅲ－ 3	事故種別救助人員状況	24
別図Ⅲ－ 4	管轄別救助活動状況	24
別図Ⅲ－ 5	市町村別救助活動状況	25
別図Ⅲ－ 6	月別救助活動状況	25

Ⅳ	119番着信概況	26
1	概況	26
2	月別の着信状況	26
3	電話種別による通報状況	26
4	携帯電話からの着信状況	26
5	時間帯別119番通報の着信状況	27
別表Ⅳ－ 1	119番着信件数の推移	27
別表Ⅳ－ 2	月別119番着信状況	27
別表Ⅳ－ 3	電話種別による119番着信件数の推移	28
別表Ⅳ－ 4	電話種別毎の通報状況	28
別表Ⅳ－ 5	携帯電話からの着信状況	28
別表Ⅳ－ 6	携帯電話の消防機関別転送状況	29
別図Ⅳ－ 1	通報内容別着信状況	29
別図Ⅳ－ 2	月別着信状況	30
別図Ⅳ－ 3	電話種別毎の着信比率の推移	30
別図Ⅳ－ 4	時間帯別着信件数の推移	31
別図Ⅳ－ 5	電話種別による通報状況	31

災害概況のまとめ

(数値の％は、対前年比又は当該年の比率を表す)

I 火災概況

平成21年中の火災件数は100件で、前年に比べ3件(-2.9%)少なく、4年連続の減少となっています。また、損害額についても、前年に比べ大幅に減少しています。これは、前年に比べ建物火災が7件(-11.5%)、車両火災が6件(-42.9%)減少したことによるものです。

火災原因については、「放火(疑いを含む)」が21件、次いで「たき火」「火入れ」10件、「こんろ」7件、「ストーブ」6件の順となっています。

死者は2人で、前年に比べ5人(-71.4%)減少しているが、負傷者は15人で前年に比べ6人(+66.7%)増加しています。このうち65歳以上の高齢者は9人で全体の半数以上を占めていました。また、消火中に受傷したものが8人でした。

今後も引き続き、防火指導及び各地域のイベントを通じて、地域住民の方々へ防火意識の向上を呼びかけ、火災又は火災による死傷者の減少に努めます。

II 救急概況

救急出動件数は8,421件(68件の減・-0.8%)で、救急搬送人数は7,923人(51人の減・-0.6%)で、3年連続の減少となっています。

事故種別ごとの出動件数は、急病が5,032件(59.8%)と半数以上を占め、次いで転院搬送1,081件(12.8%)、一般負傷1,080件(12.8%)、交通事故826件(9.8%)の順となっています。

年齢別の搬送人数は、65歳以上の高齢者が4,515人(57%)と全搬送人数に占める割合が年々増加しています。今後、少子高齢化の進展に伴い更に割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対して、家族等による応急手当の割合が44%にとどまっています。救急現場での早期の応急手当が救命のチャンスを拡大しますので、住民への心肺蘇生法の普及やAEDの使用方法等応急手当の実施率が向上するよう講習会を開催しています。

Ⅲ 救助概況

救助出動件数は１７０件（７件の増・＋４.３％）、救助活動件数は１２９件（３件の増・＋２.４％）となっています。また、救助人員は９７人（１６人の増・＋１９.８％）です。

事故種別毎の救助出動件数を見ると、交通事故が７７件（１件の減・－１.３％）と最も多く、次いで火災が４４件（１４件の減・－３１.８％）、その他の事故が１９件（７件の増・＋５８.３％）、水難事故が１７件（７件の増・＋７０.０％）、建物等による事故が７件（４件の増・＋１３３％）、機械による事故が６件（２件の増・＋５０％）となっています。

救助活動件数では交通事故が５１件（３件の増・＋６.２％）、火災が４４件（１４件の減・－３１.８％）、その他の事故が１５件（５件の増・＋５０.０％）、水難事故が８件（１件の増・＋１４.３％）、建物等による事故６件（３件の増・＋１００％）の順となっています。

また、救助人員では交通事故が最も多く５３人（１人の減・－１.８％）、次いでその他１５人（５人の増・＋５０.０％）、建物等による事故１１人（７人の増・＋１７５％）水難事故７人（２人の減・－２２.２％）の順となっています。

当局では、大規模災害や特殊な災害に対して迅速かつ高度な活動が行えるよう、平成２１年１１月に高度救助隊を整備しました。今後は、県内外の消防機関や医療機関等とのさらなる連携活動が必要不可欠と考えています。

Ⅳ １１９番着信状況

平成２１年中の総着信件数は１１，８０９件（８件減・－０.０７％）でした。平成１７年をピークに減少傾向となっています。この内固定電話が７，０９１件（６２５件減・－８.１％）、ＩＰ電話が１，５３７件（６１０件増・＋６６％）、携帯電話による通報件数は３，１８１件（７件増・＋０.２％）となっています。問い合わせや悪戯等を除く災害通報は８，４８３件でした。また、事故種別ごとの携帯電話の占める割合は、火災通報が４８％、救急通報が２４％、救助通報が３２％、警戒通報が６５％となっています。救急通報を除く災害通報の約５６％が携帯電話で行われています。屋外で発見される場合の多い救助や火災、たき火といった多くの人目につきやすいものと、急病など屋内で発生することの多い救急との違いによるものと思われます。当消防局では携帯電話からの通報時に、発信された位置情報を取り込む「携帯電話の位置情報通知システム」を導入し、今後、GPS機能付き携帯電話の普及に伴い、その機能が更に発揮され、迅速な対応が取れます。

I 火災概況

(平成21年1月～12月)

1 火災状況

(1) 火災件数

平成21年中の火災件数は100件で、前年に比べ3件(-2.9%)少なく過去10年間で最も少なくなっています。

(別表I-1、別表I-5、別図I-1参照)

(2) 火災種別

種別ごとの構成比をみますと、建物火災が全体の54%を占め、次いでその他火災34%、車両火災8%、林野火災4%の順となっています。

(別表I-1、別図I-2参照)

(3) 月別

月別の火災件数をみますと、6月が最も多く15件、次いで4月が12件、3月の11件、2月と5月の10件となっています。

種別ごとの火災発生状況をみますと、建物火災は6月に9件、林野火災は3月から6月にかけて1件ずつ、その他火災は3月に6件と最も多く発生しています。

(別表I-2、別図I-3参照)

(4) 市町村別

市町村別の火災件数をみますと、米子市が最も多く54件、次いで境港市の22件、大山町の12件となっています。

なお、日吉津村は平成18年5月以降、日野町は平成20年1月以降、火災の発生はありません。

(別表I-3、別図I-4参照)

(5) 損害額

損害額は190,100,000円で、前年(587,798,000円)に比べ、397,698,000円減少しています。

種別ごとでは、建物火災が187,180,000円で全体の98.5%を、月別では12月の68,635,000円が全体の36.1%を占めています。

(別表I-1、別表I-2参照)

2 出火原因

出火原因の第1位は「放火(疑い含む)」で21件、次いで「たき火」と「火入れ」10件、「こんろ」7件、「ストーブ」6件の順となっています。

(別表I-4参照)

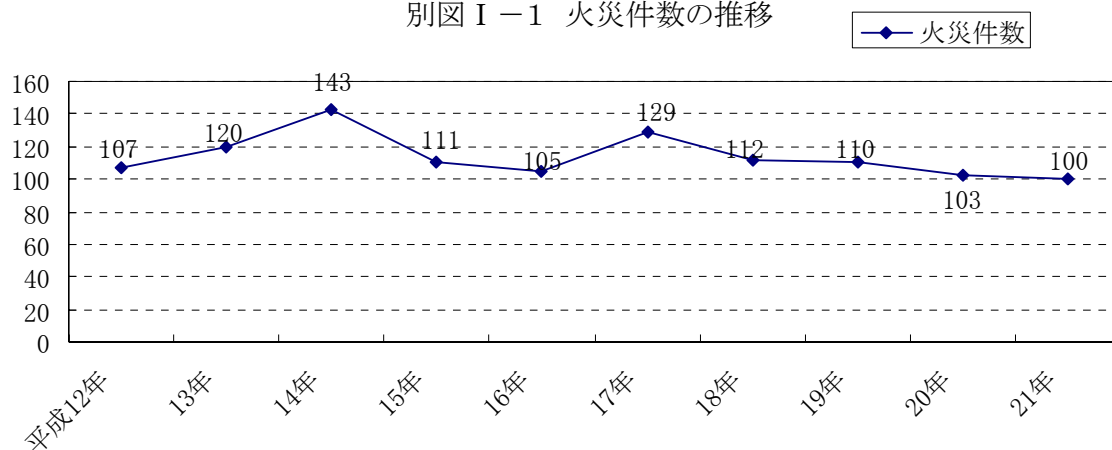
3 死者・負傷者

死者は2人で、前年（7人）より5人少なく、逆に、負傷者は6人多く15人となっています。

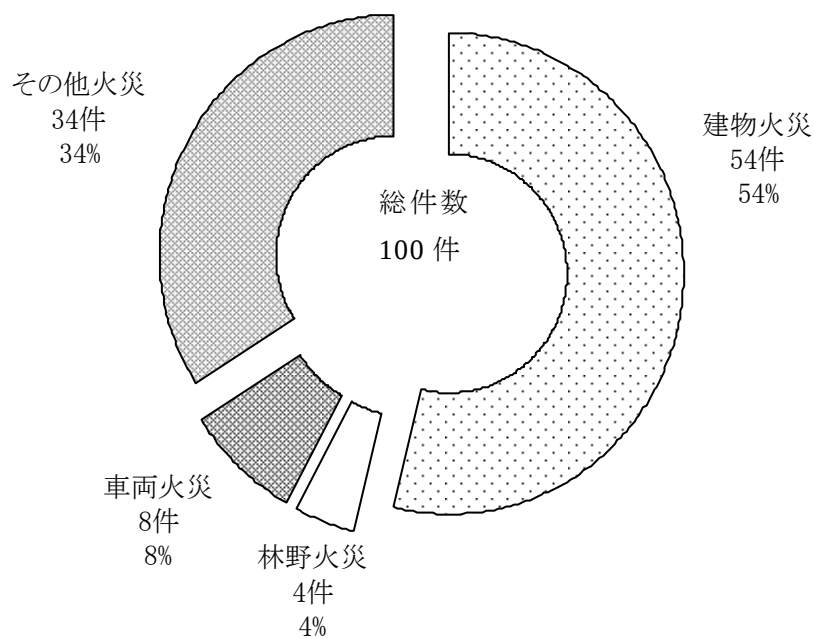
負傷者は消火しようとした際に多く発生しています。

（別表Ⅰ－1、別図Ⅰ－5、別図Ⅰ－6 参照）

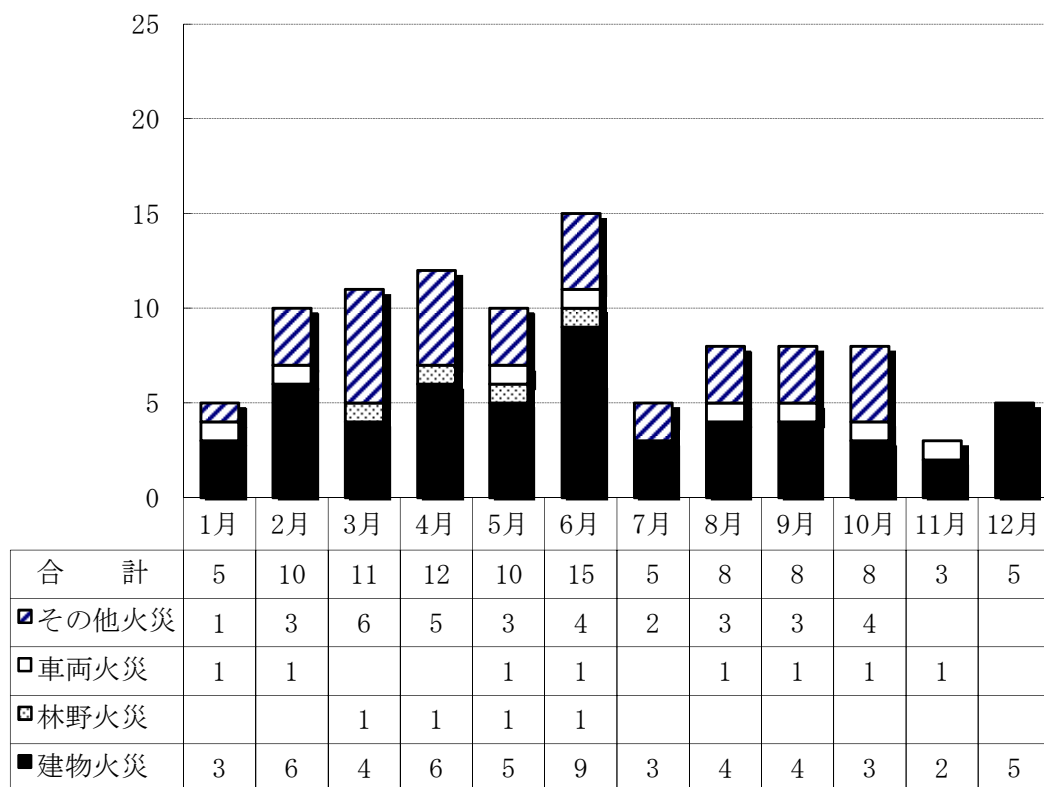
別図Ⅰ－1 火災件数の推移



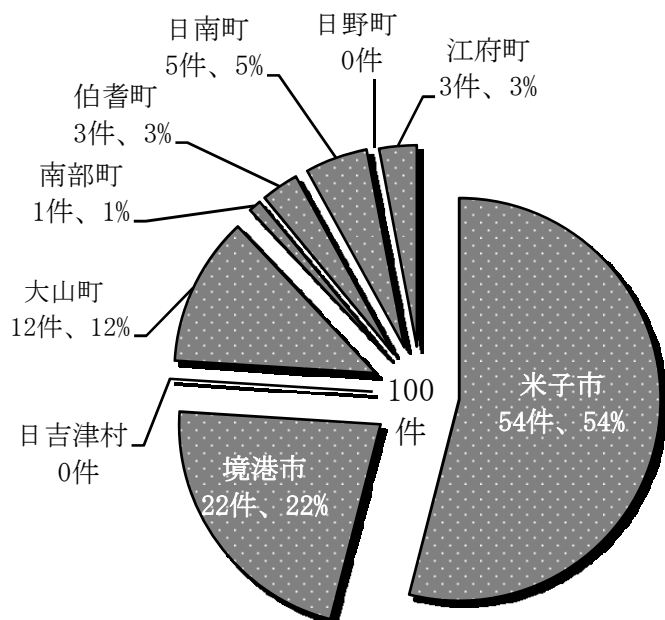
別図Ⅰ－2 火災種別ごとの件数と構成比率



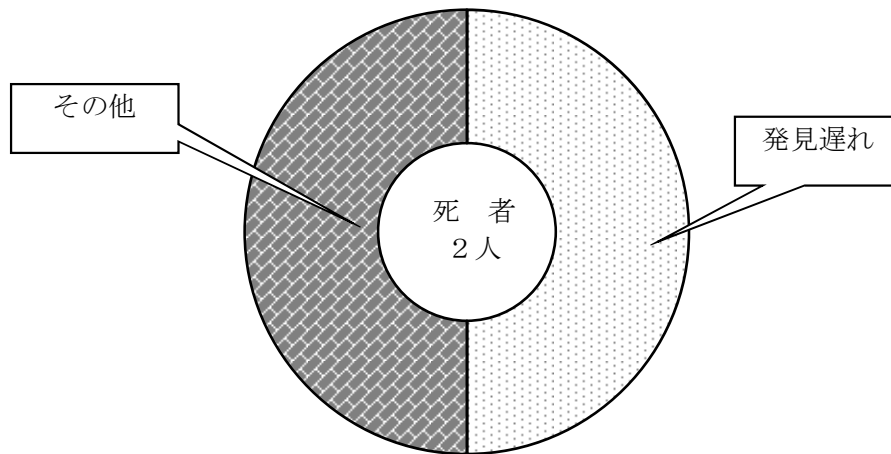
別図 I - 3 月別の火災件数



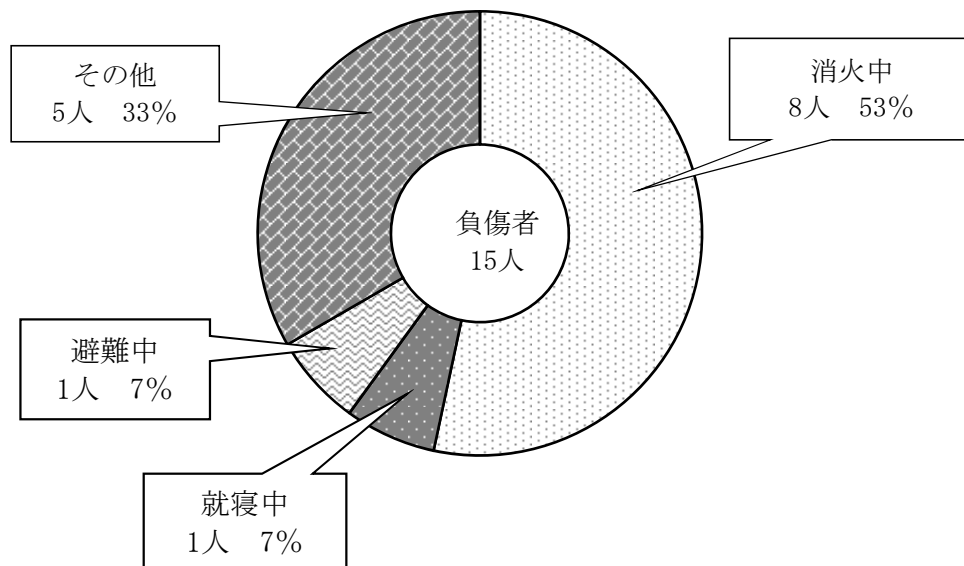
別図 I - 4 市町村別火災件数の構成比率



別図 I - 5 経過別死者発生状況



別図 I - 6 経過別負傷者発生状況



別表 I - 1 平成 21 年の火災の概況

区 分		平成 21 年 A	平成 20 年 B	増 減 C (A - B)	増 減 率 C / B (%)
火 災 件 数 (件)		1 0 0 (100%)	1 0 3 (100%)	- 3	-2.9%
建 物 火 災		5 4 (54.0%)	6 1 (59.2%)	- 7	-11.5%
林 野 火 災		4 (4.0%)	3 (2.9%)	1	33.3%
車 両 火 災		8 (8.0%)	1 4 (13.6%)	- 6	-42.9%
船 舶 火 災		()	()		
そ の 他 火 災		3 4 (34.0%)	2 5 (24.3%)	9	36.0%
焼 損 棟 数 (棟)		7 6 (100%)	8 8 (100%)	- 1 2	-13.6%
全 焼		2 1 (27.6%)	2 9 (33.0%)	- 8	-27.6%
半 焼		3 (3.9%)	3 (3.4%)	0	0.0%
部 分 焼		2 9 (38.2%)	3 0 (34.1%)	- 1	-3.3%
ば や		2 3 (30.3%)	2 6 (29.5%)	- 3	-11.5%
罹災世帯数(世帯)		4 7 (100%)	4 0 (100%)	7	17.5%
全 損		1 2 (25.5%)	7 (17.5%)	5	71.4%
半 損		3 (6.4%)	()	3	
小 損		3 2 (68.1%)	3 3 (82.5%)	- 1	-3.0%
罹 災 人 員 (人)		1 2 5	1 3 5	- 1 0	-7.4%
焼 損 面 積	建物(m ²)	3, 1 8 7	3, 8 8 9	- 7 0 2	-18.1%
	林野(a)	2 0	2	1 8	900.0%
損 害 額 (千 円)		1 9 0, 1 0 0	5 8 7, 7 9 8	- 3 9 7, 6 9 8	-67.7%
建 物 火 災		1 8 7, 1 8 0	5 5 8, 2 6 9	- 3 7 1, 0 8 9	-66.5%
林 野 火 災		2 8 6	1 5	2 7 1	1806.7%
車 両 火 災		2, 4 3 8	2 8, 6 3 9	- 2 6, 2 0 1	-91.5%
船 舶 火 災					
そ の 他 火 災		1 7 8	8 7 5	- 6 9 7	-79.7%
1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	火災全体	1, 9 0 1	5, 7 0 7	- 3, 8 0 6	-66.7%
	建物火災	3, 4 6 6	9, 1 5 2	- 5, 6 8 6	-62.1%
1 件 当 り 損 害 面 積	建物(m ²)	5 9	6 4	- 5	-7.8%
	林野(a)	5	1	4	400.0%
死 者 (人)		2	7	- 5	-71.4%
負 傷 者 (人)		1 5	9	6	66.7%
出火率 (人口 1 万人 当 り)		4. 1 5	4. 1 6	- 0. 0 1	-0.2%

備考 () 内は構成比を示す。なお、損害額については概数

別表Ⅰ－２ 月別火災発生状況

	合 計		建物火災			林野火災			車両火災		船舶火災		その他火災		焼損棟数				り災世帯				死	負	
	件	損 害 額 (千円)	件	損 害 額 (千円)	焼 損 面 積 ㎡	件	損 害 額 (千円)	焼 損 面 積 a	件	損 害 額 (千円)	件	損 害 額 (千円)	件	損 害 額 (千円)	合 計	全	半	小	り	災 人	員				
1 月	5	16, 805	3	16, 715	191				1	90			1		9	3		4	2	7	1	6	23	1	
2 月	10	18, 211	6	17, 775	626				1	436			3		9	4		2	3	9	4	5	22	2	
3 月	11	11, 362	4	11, 064	208	1	248	9					6	50	6	2		1	3	4	2	2	11	1	
4 月	12	2, 293	6	2, 232	96	1	38	1					5	5	7	1	1	2	3	4		1	3	2	
5 月	10	2, 927	5	2, 902	221	1			1	25			3		10	3	1	6		3	1	1	7	2	
6 月	15	4, 782	9	3, 784	94	1		10	1	998			4		10	1		5	4	6		6	18	2	
7 月	5	53, 042	3	53, 042	1, 112								2		3	1		1	1	1		1	2	1	
8 月	8	821	4	726	121				1	92			3	3	5	2		2	1	1	1		4	1	
9 月	8	8, 831	4	8, 228	110				1	603			3		6	2	1	1	2	4	1	1	2	8	
10 月	8	398	3	90					1	188			4	120	3			1	2	3		3	11	2	
11 月	3	1, 993	2	1, 987	69				1	6					2			2		1		1	1		
12 月	5	68, 635	5	68, 635	339										6	2		2	2	4	2	2	9	3	
合計	100	190, 100	54	187, 180	3, 187	4	286	20	8	2, 438	0		34	178	76	21	3	29	23	47	12	3	32	125	2
																								15	

別表Ⅰ－3 市町村別火災状況

	火災件数					焼損面積		焼損棟数				り災世帯数				死 者	負 傷 者	3 0 日 以 内 死 亡	損 害 額 (千 円)				
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	床 面 積 ㎡	表 面 積 ㎡	林 野 a	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ	合 計					全 損	半 損	小 損	
米子市	54	28		4		22	1,066	67		41	10	2	15	14	27	6	2	19	68		11		41,983
境港市	22	14				8	535	19		18	4	1	7	6	13	3	1	9	39	1	1		27,148
日吉津村	0																					0	
大山町	12	7	1	1		3	1,248	9		7	3		1	3	4	1		3	12	1			114,208
南部町	1	1						2		1			1										0
伯耆町	3	2		1			90	23		4	2		2		1	1			4				2,464
日南町	5	1	2	2			180		11	1	1				1	1			1	1	1		3,599
日野町	0																						0
江府町	3	1	1			1	68	10	9	4	1		3		1			1	1	1			698
合 計	100	54	4	8		34	3,187	130	20	76	21	3	29	23	47	12	3	32	125	2	15		190,100

別表 I - 4 出火原因別火災発生概況

原因別	出火件数							損害額（千円）	死者負傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	死者	負傷者
合計	100	54	4	8			34	190,100	2	15
たばこ	5	4					1	4,035	1	1
こんろ	7	7						119		2
かまど										
風呂かまど										
炉										
焼却炉										
ストーブ	6	6						24,143		2
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道	1	1								
排気管	1			1				603		
電気機器	2	2						55		
電気装置	1			1				6		
電灯・電話等の配線	3	3						56,520		
内燃機関										
配線器具	1	1						104		
火あそび	3	2					1	587		
マッチ・ライター	1	1						1		1
たき火	10	1	2				7	450	1	1
溶接機・切断機										
灯火	1	1						4		1
衝突の火花										
取灰										
火入れ	10	1	2				7	547		4
放火	5	3					2	6,305		1
放火の疑い	16	6					10	14,707		
その他	9	7		1			1	2,681		
不明・調査中	18	8		5			5	79,233		2

別表Ⅰ－５ 過去５年間の市町村別火災件数

	平成21年					平成20年					平成19年					平成18年					平成17年					
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 の 他	
米子市	54	28		4	22	47	30		9	8	56	37		5	14	59	50		4	5	71	49	1	8	13	
境港市	22	14			8	23	10			13	24	8		1	15	23	18		1	4	11	4		1	1	5
日吉津村	0					0					0					2			1	1	4	1				3
大山町	12	7	1	1	3	12	6	2	1	3	9	5	2	1	1	11	6		3	2	20	13		4		3
南部町	1	1				3	3				6	3	2	1		3	2		1		4		3	1		
伯耆町	3	2		1		7	3		3	1	6	4	1		1	4	2	1		1	8	6	1	1		
日南町	5	1	2	2		6	5	1			3	3				9	8			1	4	4				
日野町	0					0					4	3		1		1					2	2				
江府町	3	1	1		1	5	4		1		2	2				0				3	2		1			
合 計	100	54	4	8	34	103	61	3	14	25	110	65	5	9	31	112	86	1	11	14	127	81	5	16	1	24

別表 I -6 過去10年間の火災発生状況

区 分	合 計		建物火災			林野火災			車両火災		船舶火災		その他火災		焼損棟数				罹災世帯				死 者	負 傷 者		
	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	焼 損 面 積 ㎡	件 数	損 害 額 (千円)	a	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 焼	半 焼			小 損	罹 災 人 員 (人)
12年	107	156,560	63	138,370	2,763	7		16	13	13,991	1	4,000	23	199	83	20	8	26	29	50	12	5	33	151	4	10
13年	120	232,096	63	200,616	3,416	5	5,207	199	21	21,315	1	4,500	30	458	88	26	7	29	26	55	13	5	37	195	6	11
14年	143	261,812	72	252,724	4,364	10	1,638	453	13	6,538			48	912	105	33	5	40	27	66	17	2	47	207	8	21
15年	111	145,855	73	143,834	3,875	2		6	14	1,588			22	433	99	23	11	37	28	62	17	10	35	191	9	23
16年	105	254,660	69	249,412	5,900	6	5	30	14	5,243			16		103	27	12	33	31	56	11	6	39	190	4	18
17年	129	360,219	82	349,437	8,124	5	563	136	17	9,689	1	200	24	330	160	55	19	38	48	101	39	13	49	267	10	19
18年	112	288,024	86	284,659	5,721	1			11	2,576			14	789	137	28	13	55	41	78	18	9	51	238	5	19
19年	110	92,913	65	89,856	2,305	5	427	48	9	2,324			31	306	74	17	6	23	28	33	7	5	21	91	6	14
20年	103	587,798	61	558,269	3,889	3	15	2	14	28,639			25	875	88	29	3	30	26	40	7		33	135	7	9
21年	100	190,100	54	187,180	3,187	4	286	20	8	2,438			34	178	76	21	3	29	23	47	12	3	32	125	2	15

Ⅱ 救急概況

(平成21年1月～12月)

1 救急出動件数、救急搬送状況

平成21年中の救急出動件数は、前年に比べて68件減の8,421件、搬送人員は51人減の7,923人で、ともに3年連続の減少となりました。
(別図Ⅱ－1、Ⅱ－2、Ⅱ－3参照)

2 市町村別救急活動状況

救急出動件数、救急搬送人員がともに減少傾向の中、前年に比べ米子市、大山町、南部町、江府町では増加しました。

(別図Ⅱ－4参照)

3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が3,863人(48.8%)で最も多く、次いで軽症が2,788人(35.2%)となっています。

(別図Ⅱ－5参照)

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が4,515人(57%)と最も多く、割合は増加しました。

(別図Ⅱ－6参照)

5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ2,938件(34.8%)、2,677人(33.8%)と最も多くなっています。

(別図Ⅱ－7参照)

6 月別救急活動状況

月別の出動件数と搬送人員では、1月がそれぞれ828件(9.8%)、775人(9.8%)で最も多く、続いて12月の811件(9.6%)、770人(9.7%)となっています。

(別図Ⅱ－8参照)

7 現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は7分6秒で前年より1秒の短縮、平均収容所要時間は33分45秒で昨年より1秒短縮しました。

(別図Ⅱ－9、Ⅱ－10参照)

8 応急手当実施状況

心肺停止傷病者255人のうち、家族等により応急手当を受けた人は、113人(44%)でした。

(別図Ⅱ－11参照)

9 高度救命処置状況

心肺停止傷病者255人のうち188人が救急救命士による高度救命処置を受け、そのうち25人に回復が見られました。

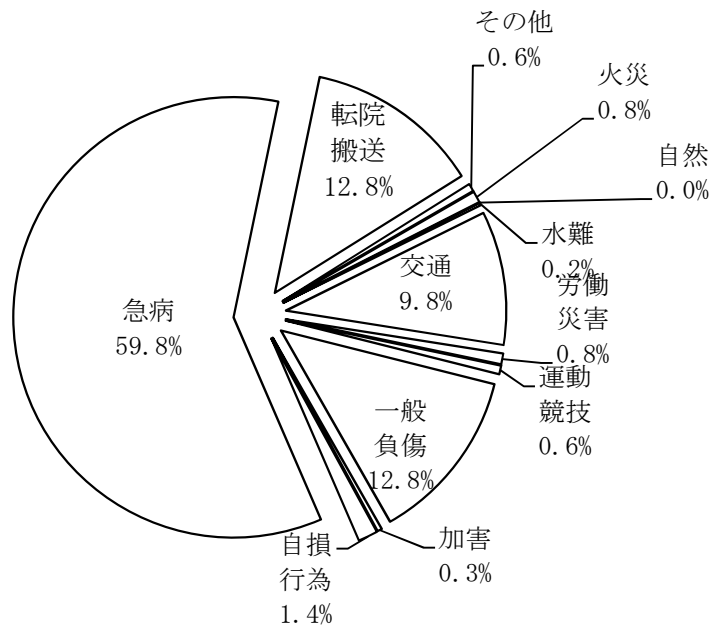
(別図Ⅱ－12、Ⅱ－13参照)

10 救急講習件数の推移

救急講習には、毎年10,000人以上の人が受講され、圏域住民の応急手当に対する意識の高さがうかがえます。

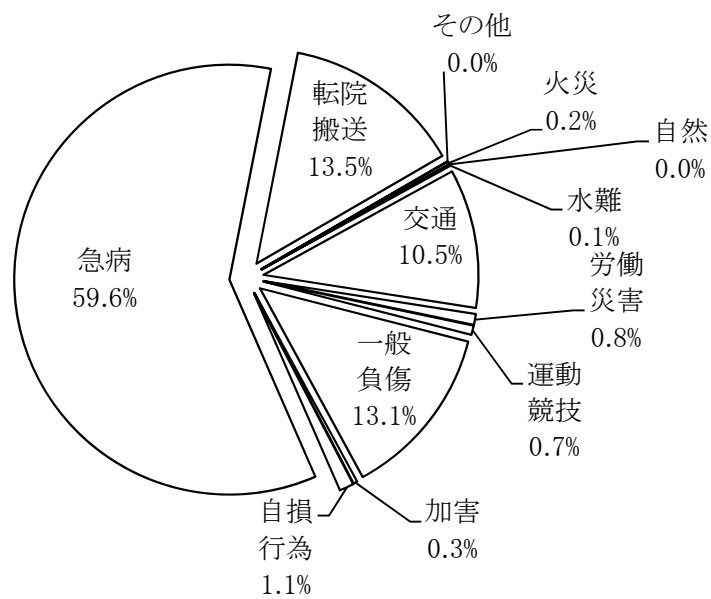
(別図Ⅱ－14、Ⅱ－15、別表Ⅱ－1参照)

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



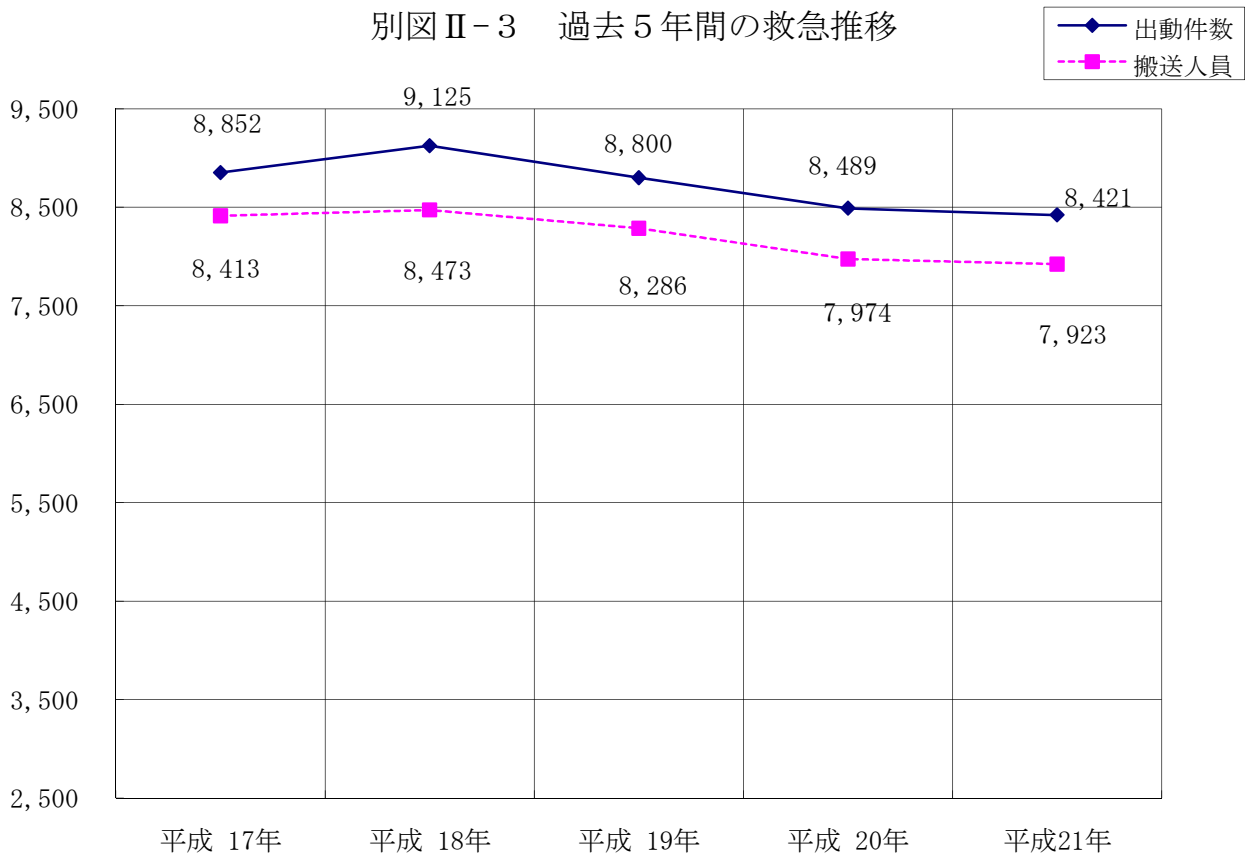
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	70	0	16	826	66	54	1,080	27	121	5,032	1,081	48	8,421

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況

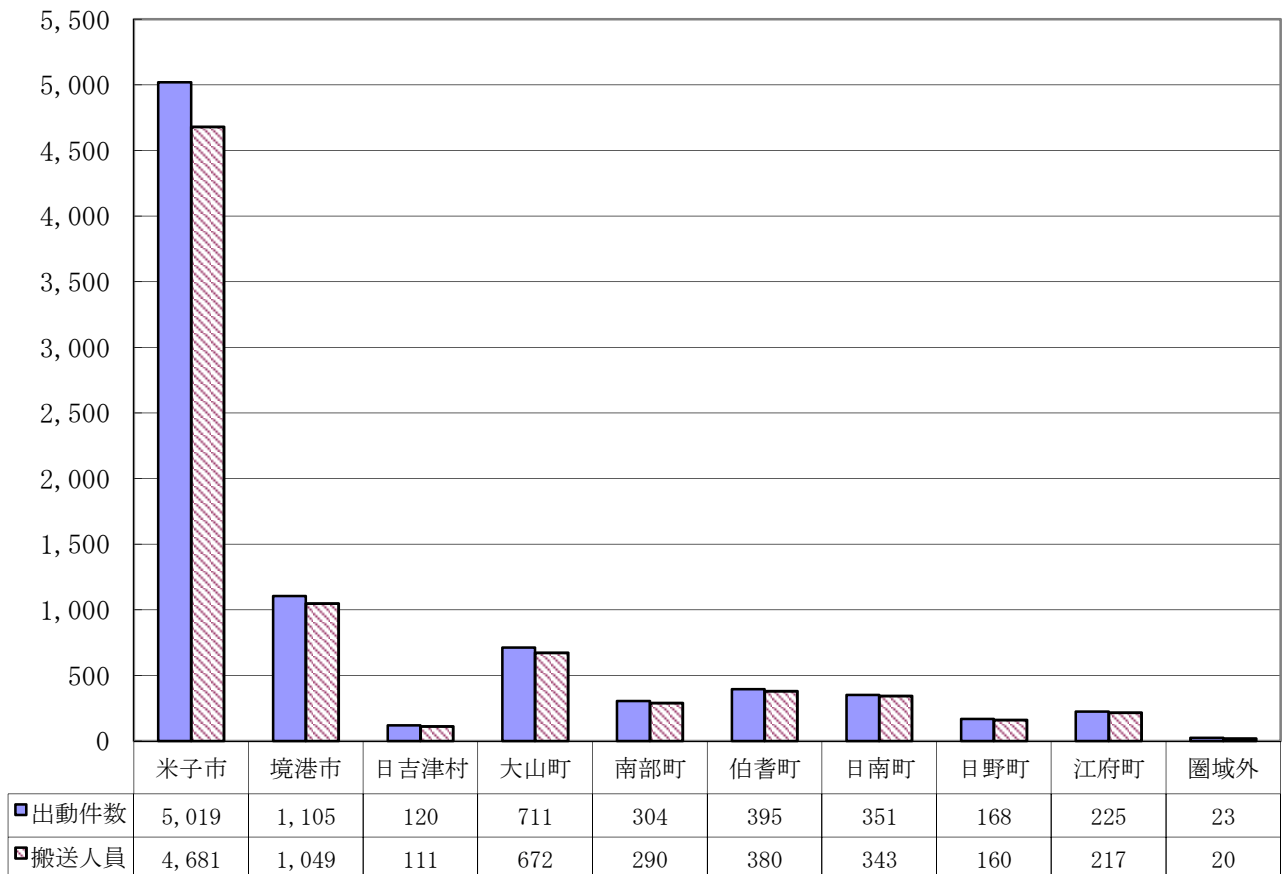


事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	17	0	10	829	65	55	1,037	23	86	4,726	1,073	2	7,923

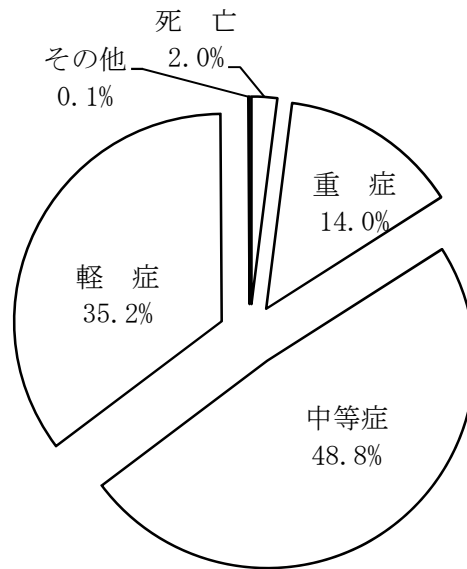
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

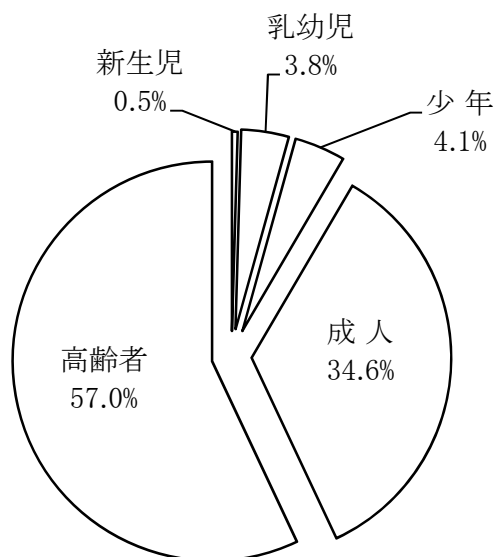


別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



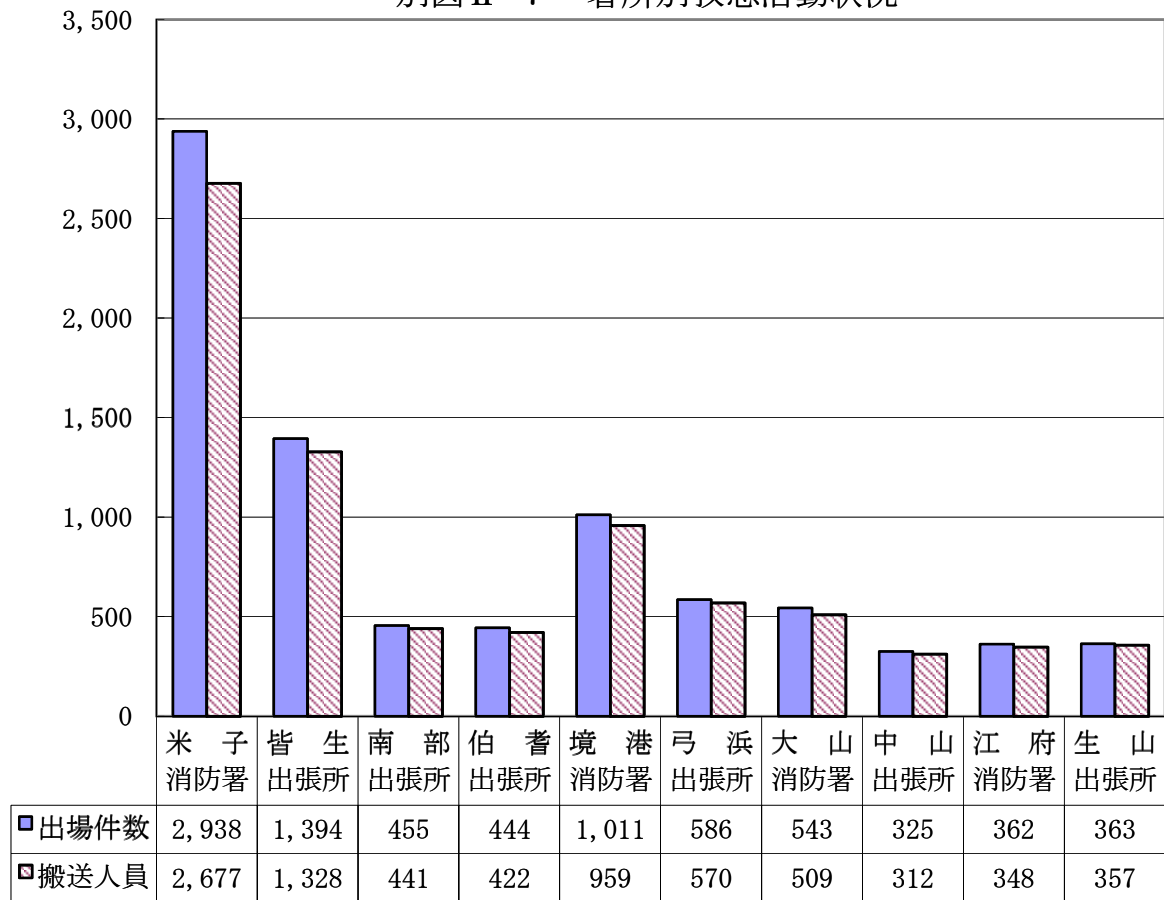
程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	158	1,107	3,863	2,788	7	7,923

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

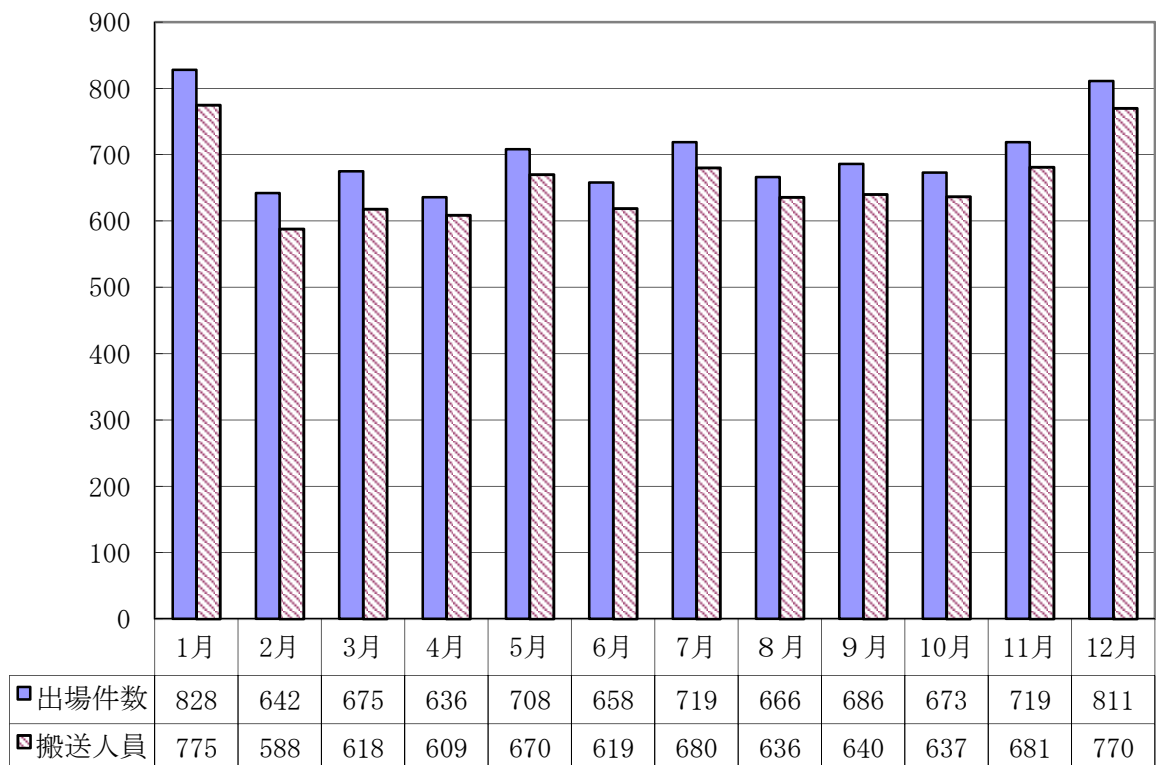


	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
搬送人員	36	305	327	2,740	4,515	7,923

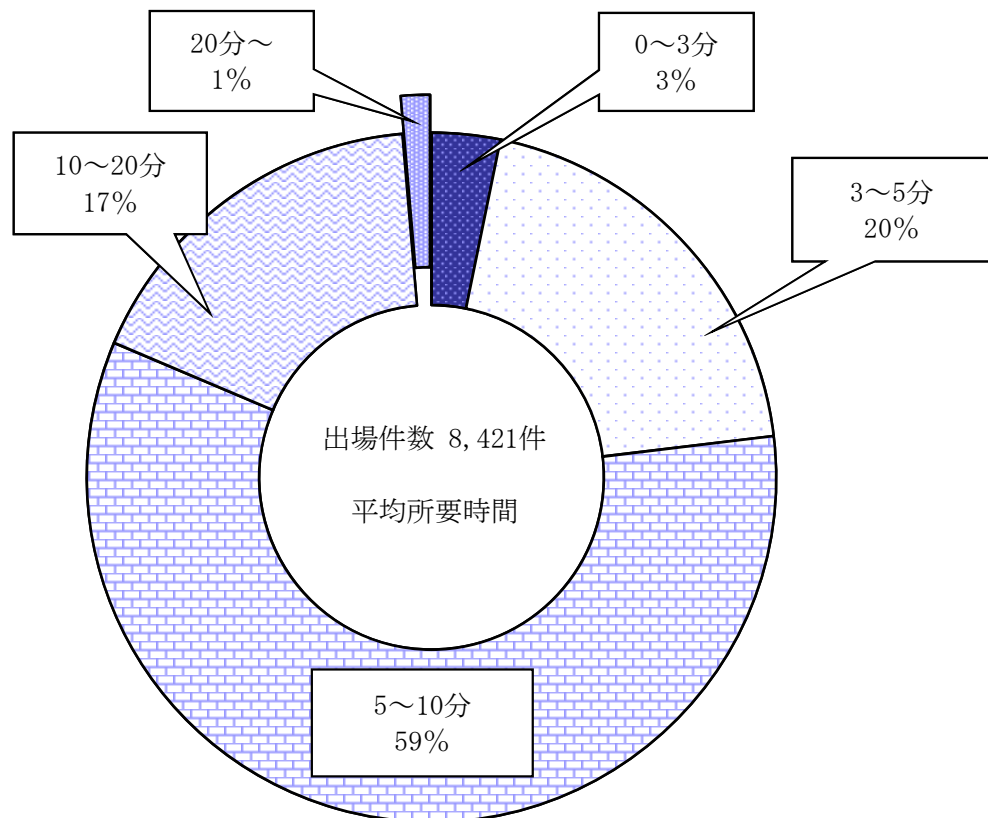
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



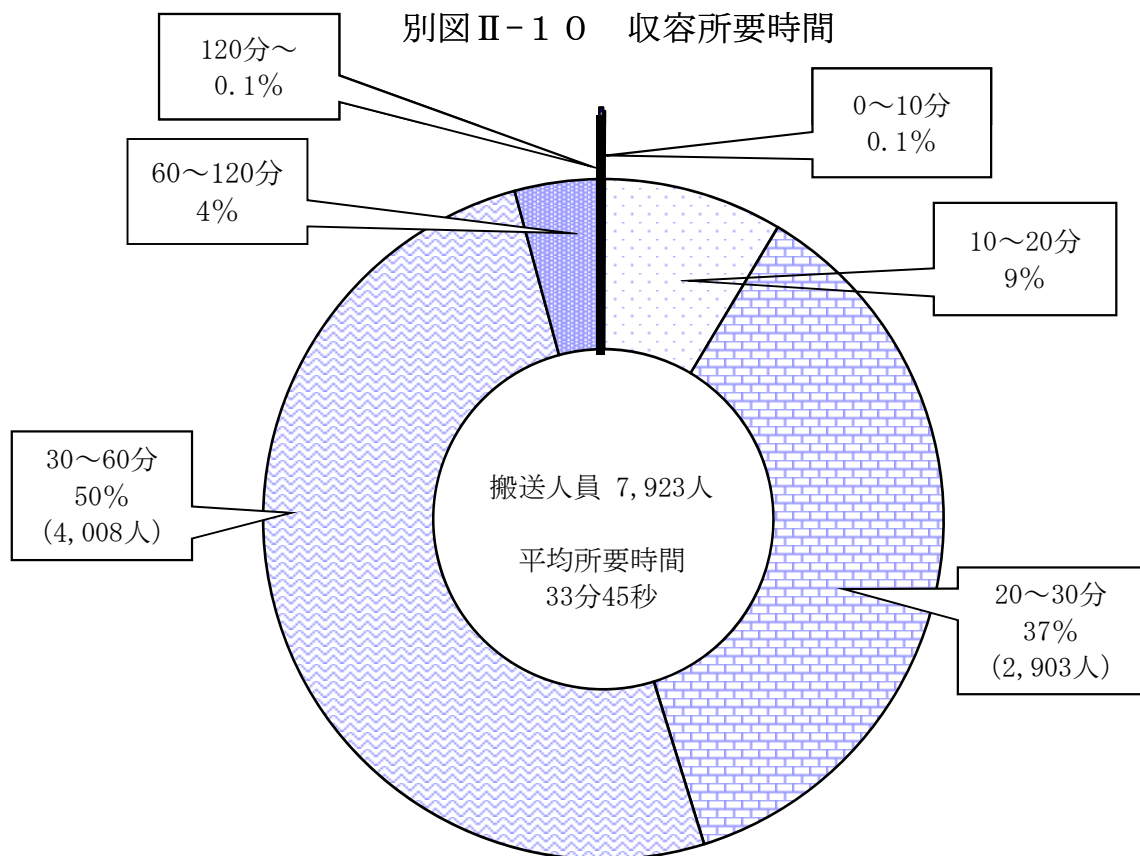
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



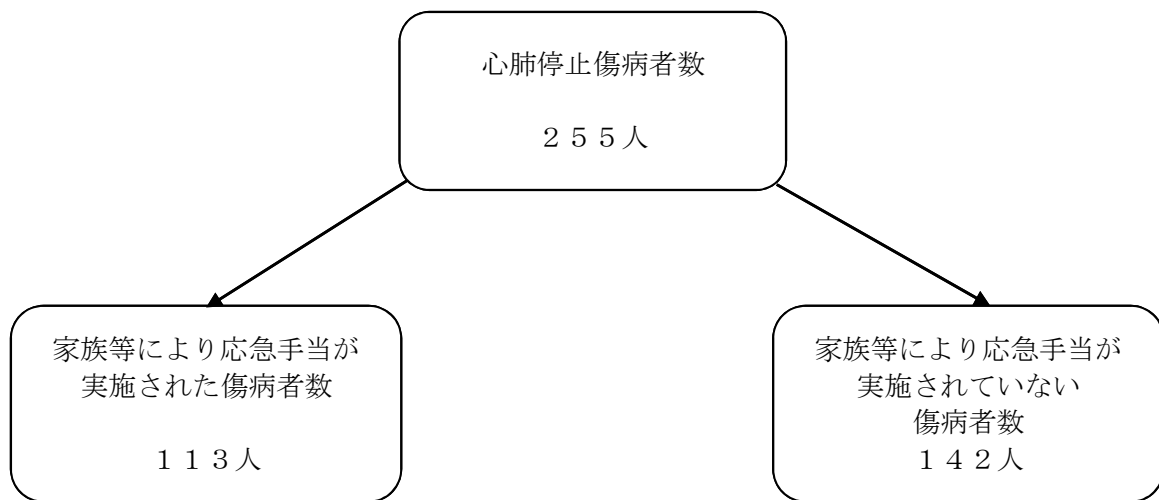
別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



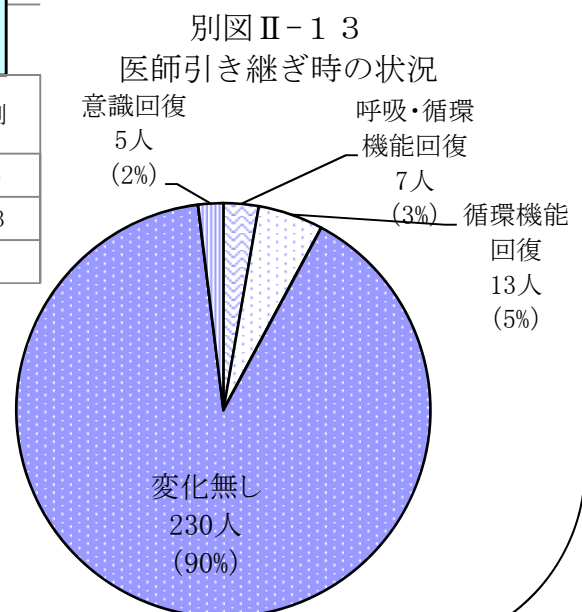
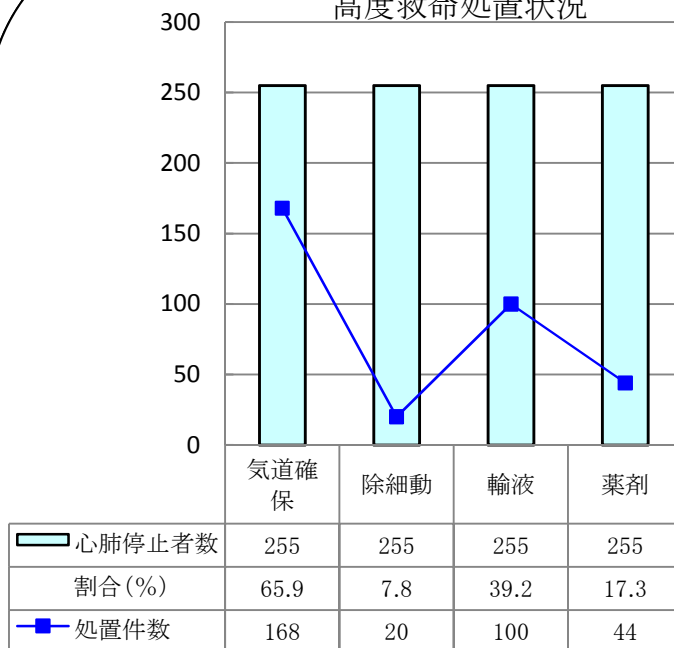
別図Ⅱ-10 収容所要時間



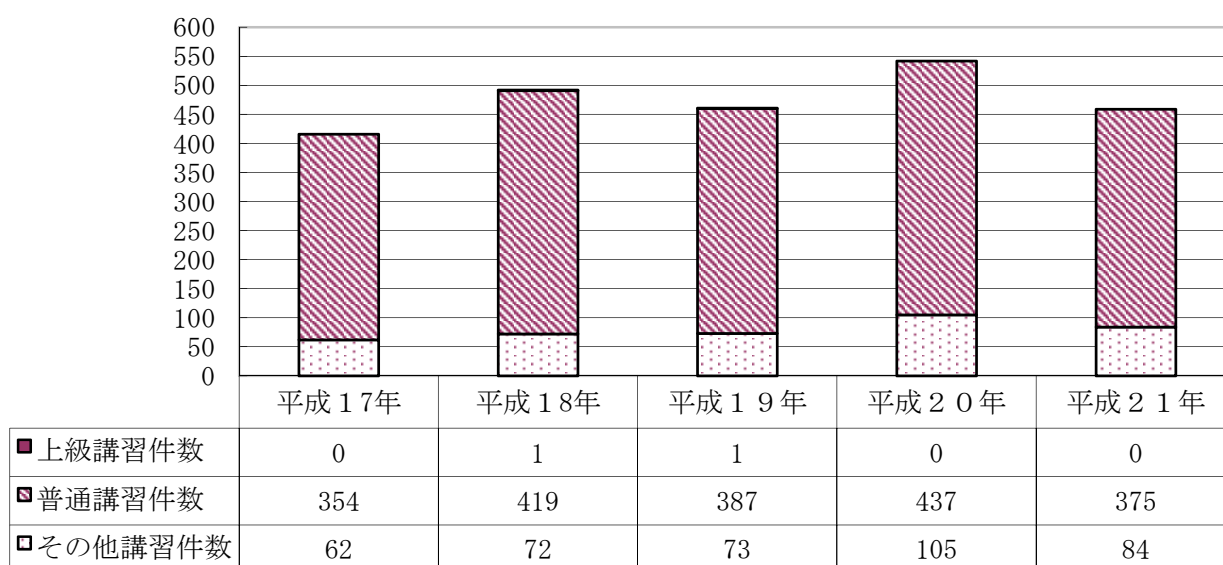
別図Ⅱ-1 1 応急手当実施状況



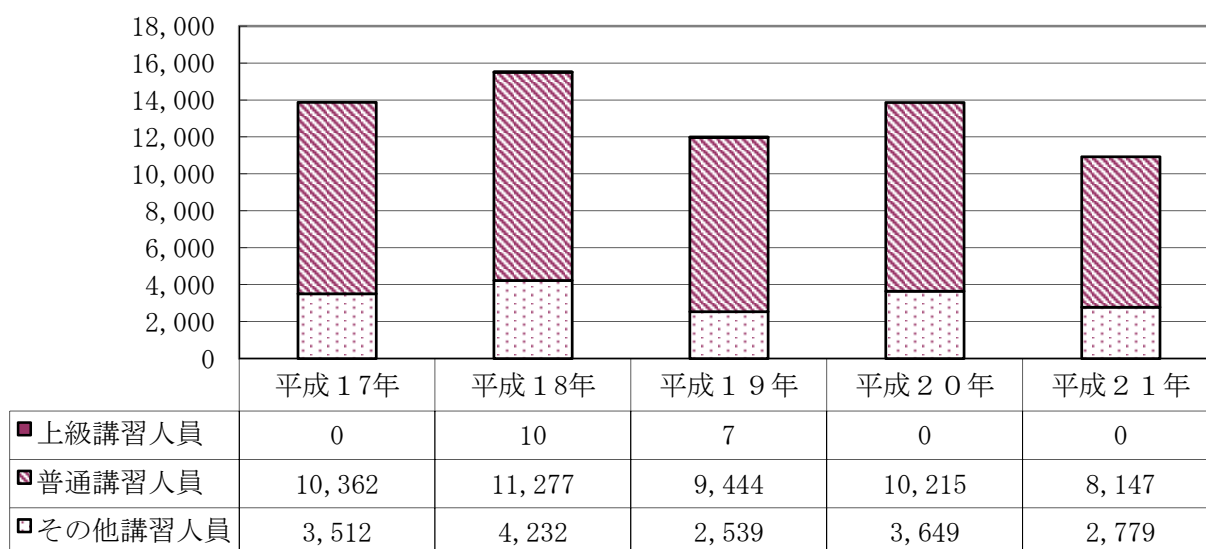
別図Ⅱ-12
高度救命処置状況



別図Ⅱ－１４ 過去５年間の救急講習件数推移



別図Ⅱ－１５ 過去５年間の救急講習人員推移



別表Ⅱ－１ 応急手当指導員・普及員の養成

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
応急手当指導員	0	0	11	16	0
応急手当普及員	33	12	0	21	15

別表Ⅱ－2 過去5年間の市町村別救急件数

		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
	件数					
米子市	件数	5,193	5,257	5,155	4,925	5,019
	人員	4,973	4,825	4,820	4,563	4,681
境港市	件数	1,147	1,240	1,223	1,207	1,105
	人員	1,118	1,150	1,161	1,144	1,049
日吉津村	件数	138	123	121	130	120
	人員	138	121	113	123	111
大山町	件数	621	835	745	697	711
	人員	690	803	709	674	672
南部町	件数	334	345	323	299	304
	人員	327	329	306	288	290
伯耆町	件数	425	477	458	443	395
	人員	389	443	429	422	380
日南町	件数	355	378	317	365	351
	人員	332	361	302	349	343
日野町	件数	215	212	213	189	168
	人員	202	199	207	185	160
江府町	件数	208	216	203	202	225
	人員	208	204	196	197	217
圏域外	件数	40	42	42	32	23
	人員	36	38	43	29	20
合計	件数	8,852	9,125	8,800	8,489	8,421
	人員	8,413	8,473	8,286	7,974	7,923

Ⅲ 救助概況

(平成21年1月～12月)

1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は170件あり、そのうち交通事故が77件(45.3%)、火災が44件(25.9%)、その他の事故が19件(11.2%)、水難事故が17件(10.0%)、建物等による事故が7件(4.1%)、機械による事故が6件(3.5%)の順となっています。

(別図Ⅲ—1 参照)

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は129件あり、そのうち交通事故が51件(39.5%)、火災が44件(34.1%)、その他の事故が15件(11.6%)、水難事故が8件(6.2%)、建物等による事故6件(4.7%)の順となっています。

(別図Ⅲ—2 参照)

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は97人あり、そのうち交通事故が53人(54.6%)と最も多く、次いでその他の事故が15人(15.5%)、建物等による事故11人(11.3%)、水難事故が7人(7.2%)、火災等による事故が6人(6.2%)となっています。

(別図Ⅲ—3 参照)

4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が106件(62.3%)と最も多く、次いで境港消防署が25件(14.7%)、江府消防署が20件(11.8%)、大山消防署が19件(11.2%)の順となっています。

(別図Ⅲ—4 参照)

5 市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数90件(52.9%)、次いで境港市が19件(11.2%)、大山町が17件(10.0%)、伯耆町が13件(7.6%)、等の順となっており、他米子道、山陰道、管轄外へも出動しています。

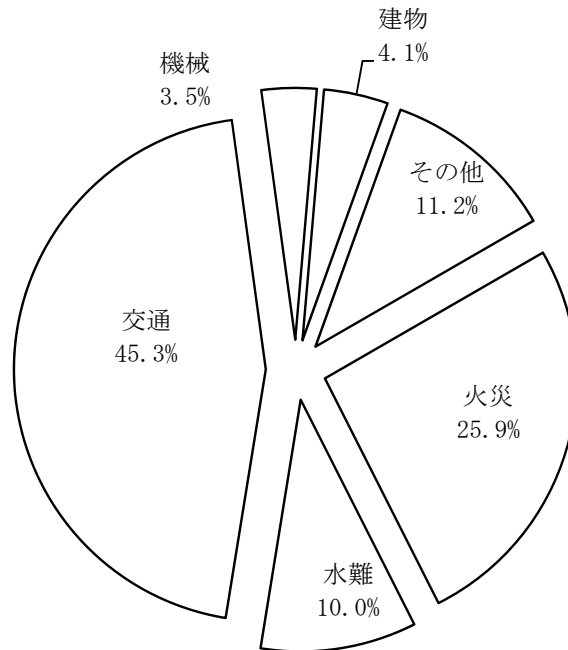
(別図Ⅲ—5 参照)

6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、7月が25件(14.7%)と最も多く、次いで9月が19件(11.2%)、2月が16件(9.4%)、12月が15件(8.8%)等の順となっています。

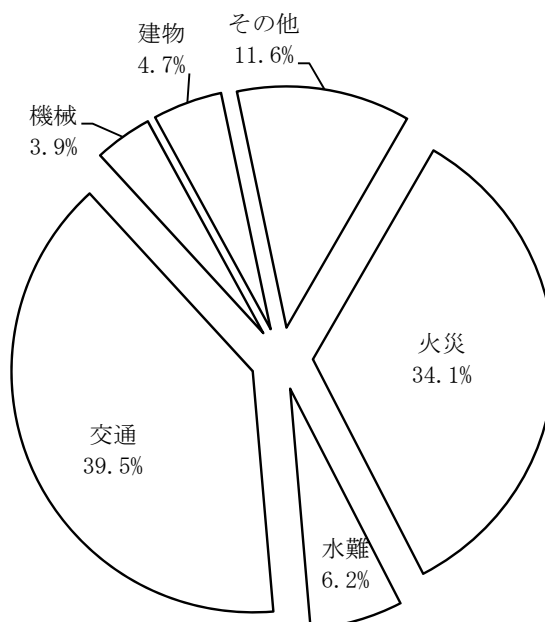
(別図Ⅲ—6 参照)

別図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況



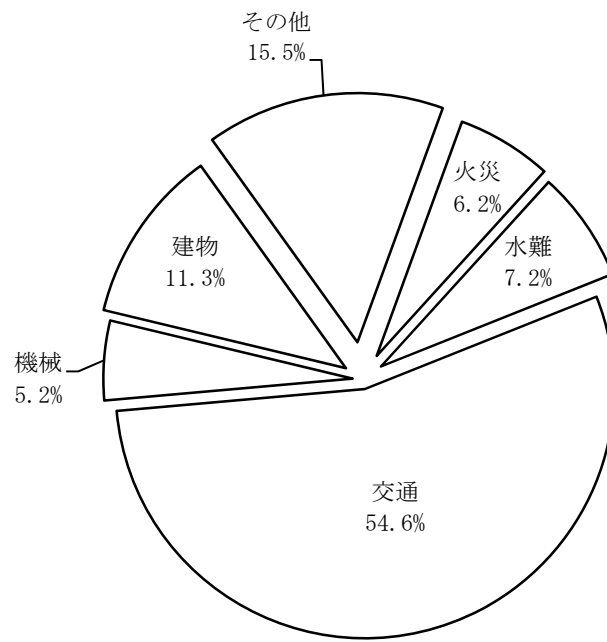
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	44	17	77	0	6	7	0	0	19	170

別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



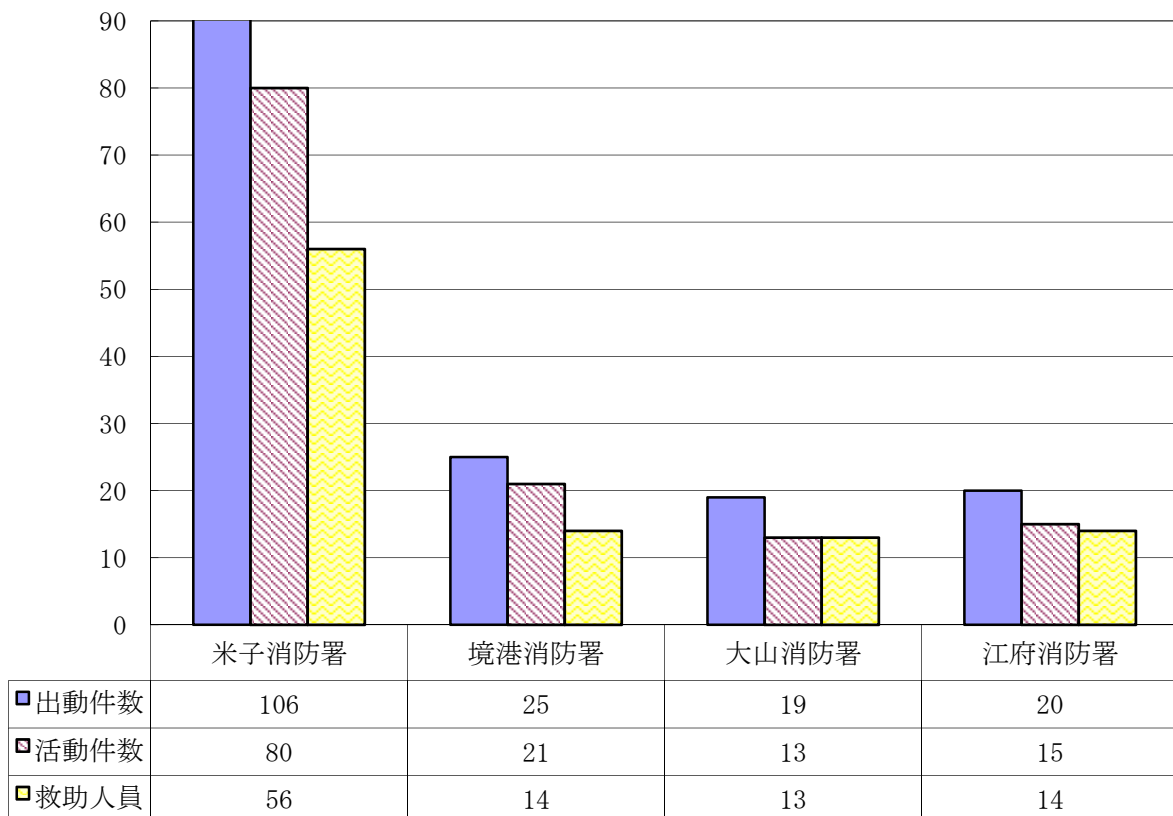
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	44	8	51	0	5	6	0	0	15	129

別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

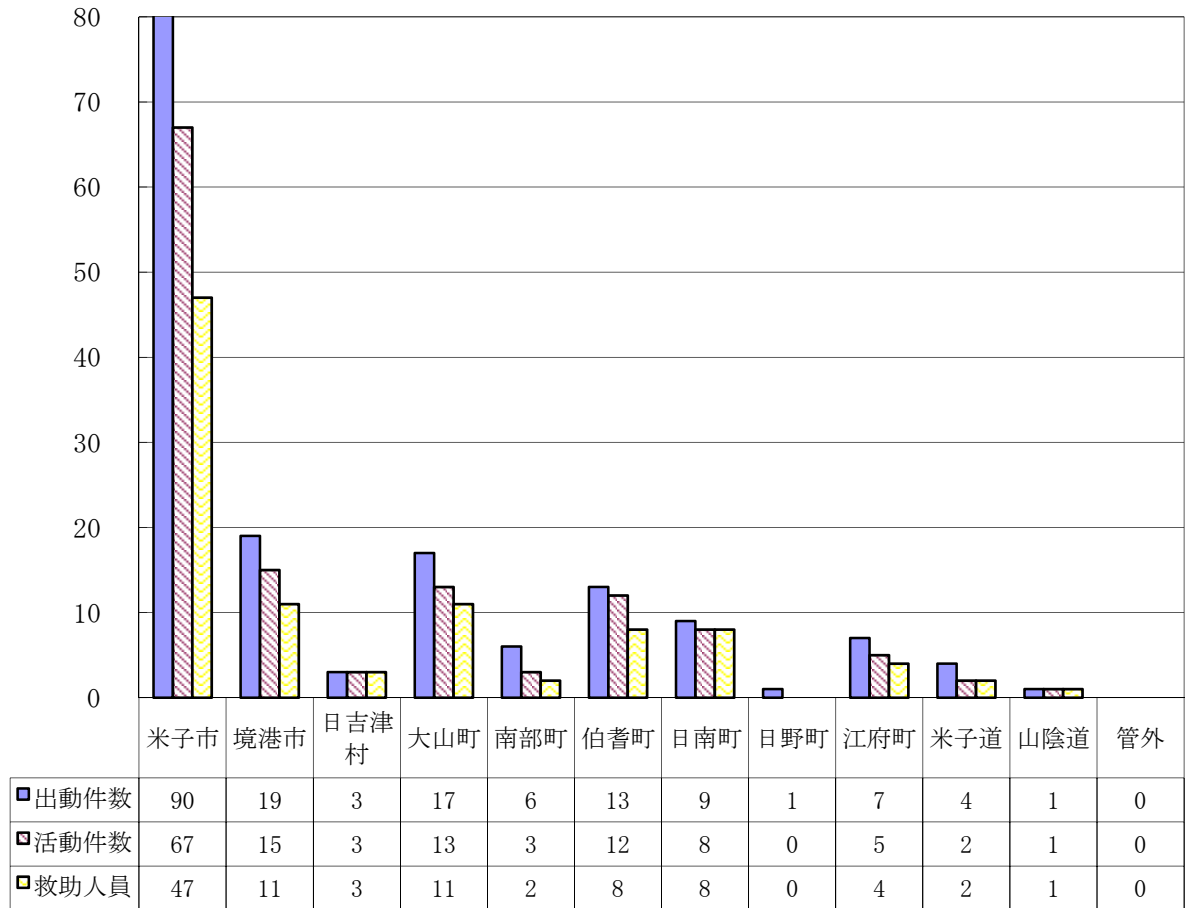


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	6	7	53	0	5	11	0	0	15	97

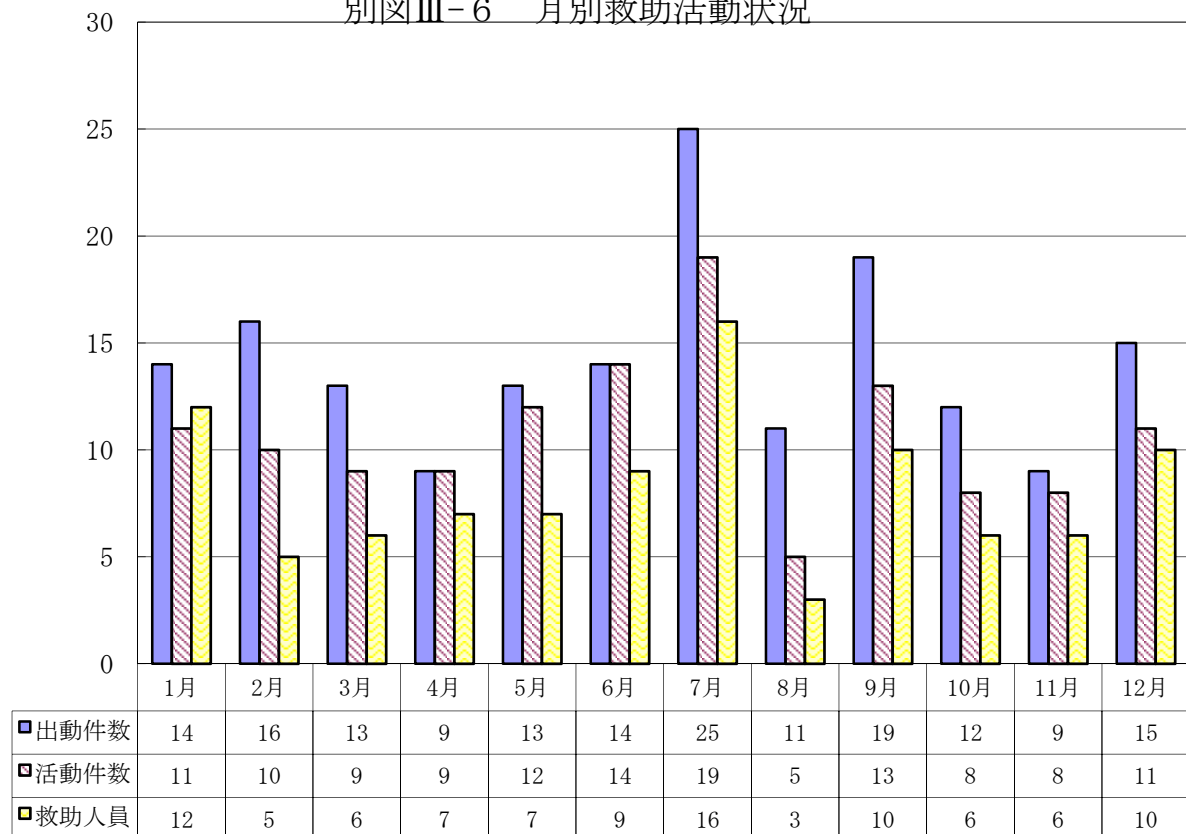
別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



別図Ⅲ-6 月別救助活動状況



IV. 119番着信概況

(平成21年1月～12月)

1 概況

平成21年中の119番通報は、総着信件数で11,809件でした。昨年に比べて8件(-0.07%)少なくなっています。1ヶ月平均では約984件、1日平均では約33件の着信となります。通報内容としては、救急通報が最も多く8,126件(68.8%)、火災通報は193件(1.6%)でした。そのほかの通報としては、間違いが766件(6.5%)、通報訓練などの通報が1,311件(11.1%)、休日・夜間などに病院に関する問い合わせ等が1,110件(9.4%)となっており、悪戯と思われるものも139件(1.2%)ありました。

(別表IV-1、別図IV-1参照)

2 月別の着信状況

月別での平均着信件数は、984件で、最も多かったのは12月の1,111件、最も少なかったのは4月の888件です。火災通報の月平均着信件数は16件で、最も多かったのは1月の29件、最も少なかったのは7月と11月の3件でした。救急通報の月平均着信件数は約677件で、最も多かったのは1月の797件、最も少なかったのは4月の626件でした。

(別表IV-2、別図IV-2参照)

3 電話種別による通報状況

17年7月よりIP電話からの119番通報ができるようになりました。21年は1,537件で全通報件数の13%を占め前年比66%増と急増傾向にあります。

災害別の通報状況として、固定電話(IP電話含む)と携帯電話の通報比率を事故種別ごとに見ますと、火災など多くの人の目に付きやすい場合のほか、交通事故などの屋外での事故の場合に、携帯電話の比率が高くなっています。

(別表IV-3、IV-4、別図IV-3、IV-5参照)

4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は3,181件で、全着信件数の27%でした。携帯電話で119番通報されますと、必ずしも電話をされた地区を管轄する消防本部に接続されるとは限りません。管轄地区以外からの通報は、その地区を管轄する消防本部に電話を転送し対応してもらいます。これを転送処理件数として別表としています。他の消防本部への転送処理件数は38

件あり、松江消防が２７件と最も多く、次いで安来消防が７件となっています。

(別表Ⅳ－３、別表Ⅳ－５、別表Ⅳ－６、別図Ⅳ－３参照)

５ 時間帯別１１９番通報の着信状況

時間帯別１１９番通報の着信件数は、活動時間帯（午前８時頃～午後９時）に大半を占めていて、睡眠時間帯（午後１０時～午前６時）では午前４時まで時間の経過とともに件数が少なくなっています。

(別図Ⅳ－４参照)

別表Ⅳ－１ １１９番着信件数の推移

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
平成１７年	401	8, 554	—	140	1, 137	962	259	1, 635	13, 088
平成１８年	347	8, 847	73	104	1, 200	894	197	1, 038	12, 700
平成１９年	222	8, 488	71	106	1, 063	927	100	1, 186	12, 163
平成２０年	192	8, 162	53	107	1, 054	877	147	1, 225	11, 817
平成２１年	193	8, 126	62	102	1, 110	766	139	1, 311	11, 809

別表Ⅳ－２ 月別１１９番着信状況

	火 災	救 急	救 助	警 戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合 計
１ 月	29	797	4	3	112	72	11	63	1,091
２ 月	22	628	4	7	82	68	13	67	891
３ 月	17	642	5	8	64	52	9	163	960
４ 月	23	626	4	8	75	59	9	84	888
５ 月	19	694	3	10	114	62	11	80	993
６ 月	24	627	5	9	93	52	18	122	950
７ 月	3	683	13	6	83	71	16	73	948
８ 月	14	644	6	6	111	84	13	48	926
９ 月	19	645	4	10	101	82	9	105	975
１０ 月	10	655	7	16	98	53	10	139	988
１１ 月	3	700	5	13	78	49	10	230	1,088
１２ 月	10	785	2	6	99	62	10	137	1,111
合 計	193	8,126	62	102	1,110	766	139	1,311	11,809
月平均	16.1	677.2	5.2	8.5	92.5	63.8	11.6	109.3	984

別表Ⅳ－３ 電話種別による１１９番着信件数の推移

	固定電話からの 着信件数	携帯電話からの 着信件数	I P 電 話	合 計
平成１７年	９，７６７	３，３２１	－	１３，０８８
平成１８年	９，２５８	３，１３２	３１０	１２，７００
平成１９年	８，４８２	３，１１６	５６５	１２，１６３
平成２０年	７，７１６	３，１７４	９２７	１１，８１７
平成２１年	７，０９１	３，１８１	１，５３７	１１，８０９

別表Ⅳ－４ 電話種別毎の通報状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
１１９固定	７４	５，０４０	１８	２５	４５１	２９４	４２	１，１４７	７，０９１
１１９携帯	９３	１，９６７	４２	６６	５０８	３５２	７０	８３	３，１８１
１１９ I P	２６	１，１１９	２	１１	１５１	１２０	２７	８１	１，５３７
総合計	１９３	８，１２６	６２	１０２	１，１１０	７６６	１３９	１，３１１	１１，８０９

別表Ⅳ－５ 携帯電話からの着信状況

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に 転送をした件数
直接通報を 受けた件数	他の消防機関から 転送受信した件数	総着信件数	３８
３，１６３	１８	３，１８１	

別表Ⅳ－ 6

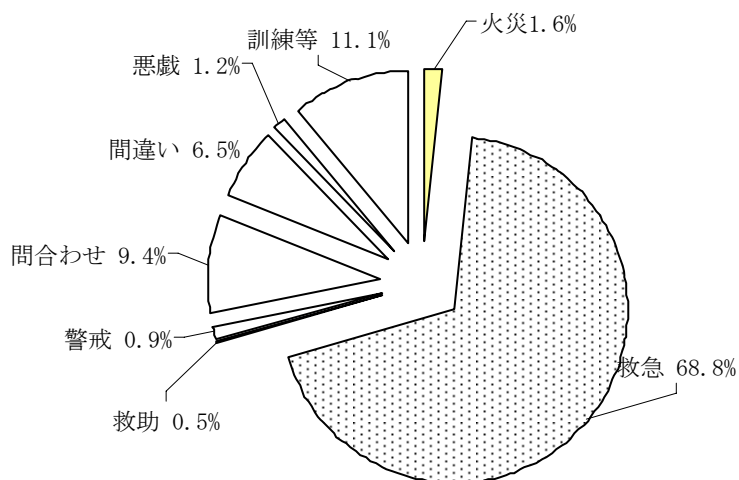
携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数				
消防	火 災	救 急	その他	合 計
松 江		6	1	7
安 来	1	3	2	6
雲 南				
東 部		2		2
中 部		3		3
新 見				
真 庭				
津 山				
備 北				
合 計	1	1 4	3	1 8

他の消防機関に転送した件数				
消防	火 災	救 急	その他	合 計
松 江	3	2 3	1	2 7
安 来		6	1	7
雲 南			2	2
東 部				
中 部				
新 見		1		1
真 庭		1		1
津 山				
備 北				
合 計	3	3 1	4	3 8

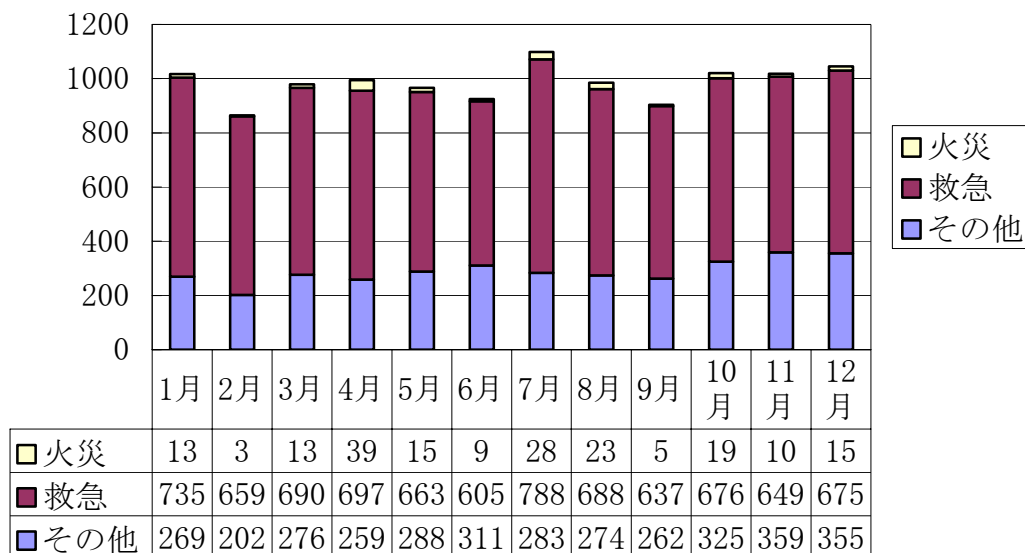
別図Ⅳ－ 1

通報内容別着信状況



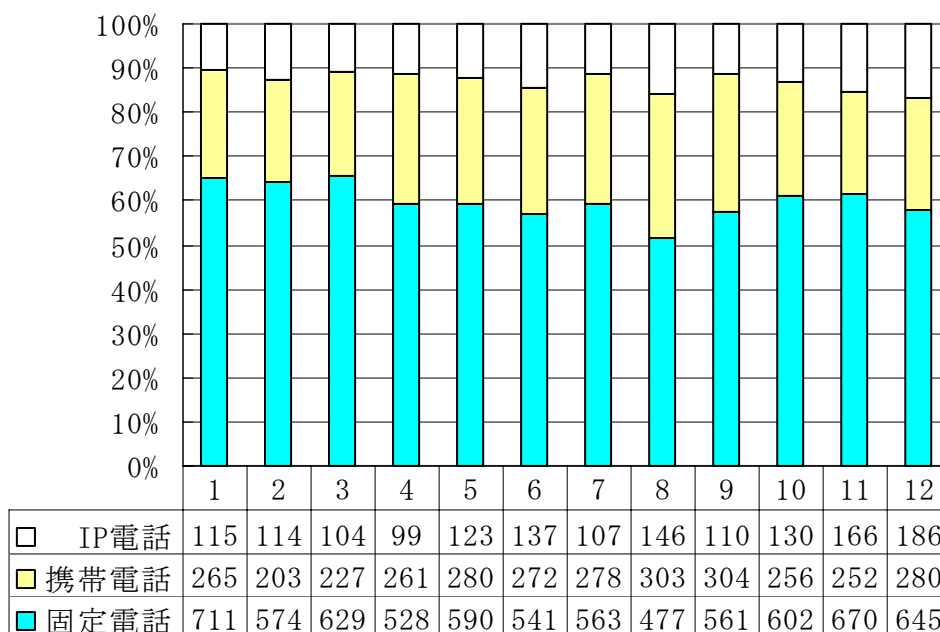
別図Ⅳ－ 2

月別着信状況



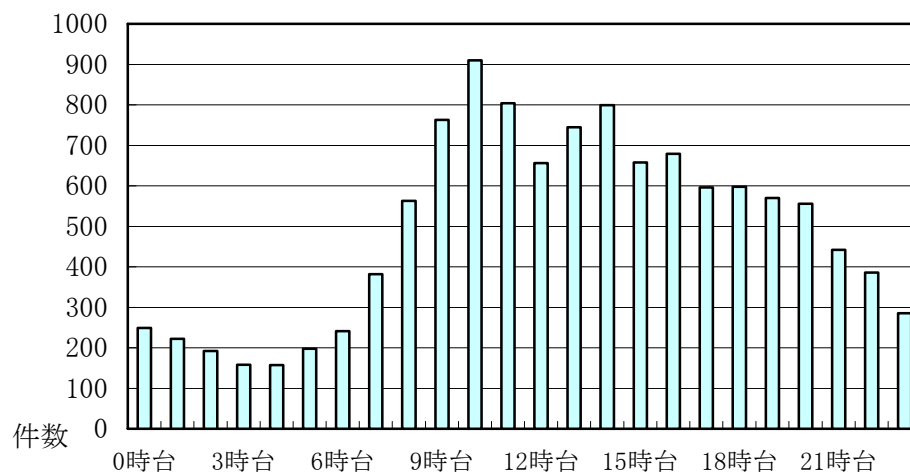
別図Ⅳ－ 3

電話種別毎の着信比率



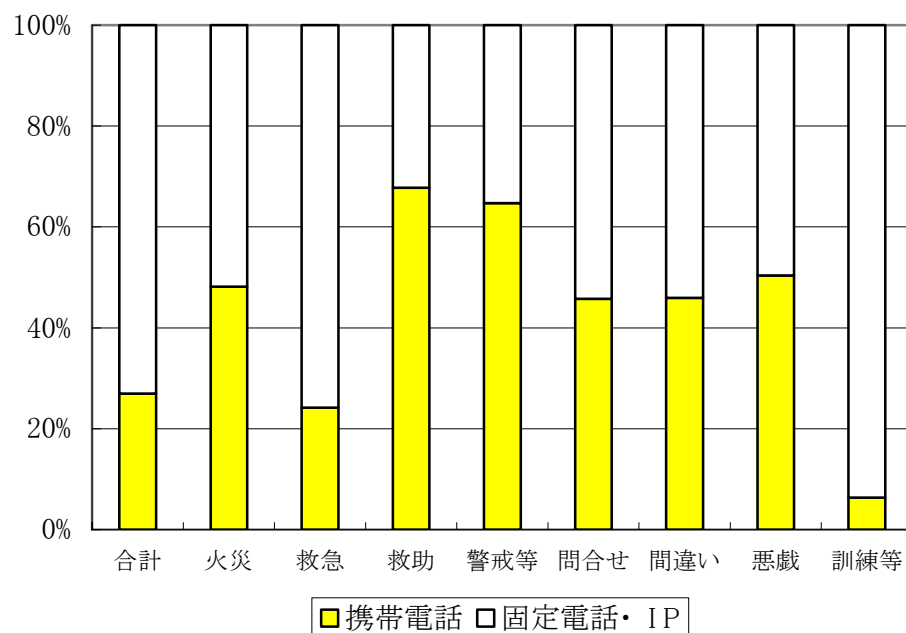
別図Ⅳ－ 4

時間帯別着信件数の推移



別 図 Ⅳ － 5

電 話 種 別 に よ る 通 報 状 況



消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

平成21年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署・出張所へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市皆生五丁目8番5号	683-0003	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3132	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災…………… 予防課予防係	0859-35-1954
救急救助…………… 警防課救急救助係	0859-35-1959
119番着信状況…指令課指令係	0859-35-1960

平成22年2月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地
鳥取県西部広域行政管理組合消防局
TEL 0859-35-1951(代)